

知識	/40	合計	
思考	/60		/100

漢字・語句の確認

(1) 学際的な研究	(16) 政治ロソウに至る
(2) コミュニティを超える	(17) 次のヨウインがある
(3) 対立が継続する	(18) ユウハツされやすい
(4) 双方が関わる	(19) セツパクした主題
(5) 検証して答えを出す	(20) 社会的コンナン
(6) 研究が導く解答	(21) ヨソクの証明
(7) 二酸化炭素の削減	(22) 社会にコウケンする
(8) 様々な措置	(23) キコウの変動
(9) 政治的偏向	(24) 情報がケツラクする
(10) 境目が不明確だ	(25) ドクサイ政権
(11) 多くの方法を駆使する	(26) 大雨をケイカイする
(12) 政治性を帯びる	(27) 確実さでオトる
(13) 証拠を隠蔽する	(28) 自らの価値観にヒタる
(14) 政治を糾弾する	(29) シンケンに研究する
(15) 言葉を紡ぐ	(30) 受け継がれるイサン

〈各1点〉

2 知 次の語句の意味を調べよ。

〈各1点〉

- (1) コミュニティ (二六・三)
- (2) リスク (二六・11)
- (3) 不可避 (二六・16)

3 知 次の語句の意味を後からそれぞれ選んで記号で答えよ。

〈各1点〉

- (1) マジョリテイ (二五・二)
- (2) シミュレーション (二五・15)
- (3) バイアス (二五・13)
- ア 多数派 イ 少数派 ウ 偏り
- エ 模擬実験 オ 時代錯誤 カ 疎外

4 知 次の語句を用いて短文を作れ。

〈各2点〉

- (1) 白黒を付ける (二六・六)
- (2) 念頭に置く (二五・九)

文脈を理解する

1 思 「主に次の二つの要因があります」(二六・一)とあるが、「二つの要因」をそれぞれ簡潔に答えよ。

〈各5点〉

2 思 「私自身は、論争の存在自体を肯定的に捉える立場です」(二六・一)とあるが、筆者が論争を「肯定的に捉える」のはなぜか。

最も適当なものを次から選べ。

〈3点〉

- ア 人間社会の課題を扱う際には、その複雑さと人間の能力の不完全さゆえに政治性が生じたり、学術的論争と政治的論争との境界が不明確になったりするのは仕方がないと考えているから
- イ 学術的論争と政治的論争は、社会で複雑な問題を扱っているときに起こりやすく、その論争を乗り越えることで、社会は一段階進歩していくと考えているから
- ウ 人間は、科学的に原因を確定することが困難な問題に対しては、感情的になりやすい傾向があるため、政治的論争が起きてしまうのは無理もないと考えているから

エ 現実の社会に関連する問題を扱う研究をめぐっては、論争が学術的であるか政治的であるかを判別するのが、人間の力では難しいと考えているから。

第一段落

才 複雑な社会的課題を扱う際には、学術的論争と政治的論争が並行して起こりやすいが、政治的論争は取るに足りないものであることがほとんどだと考えているから。

3 思 「複雑な系を扱うがゆえの不確実性も政治を呼ぶ」(二六・一)とは、どういうことか。最も適当なものを次から選べ。

〈3点〉

- ア あらゆる学問は各分野それぞれの価値観が反映されているため、扱う対象が複雑だと、様々な研究の結論が生じ、政治的論争が起きてしまうということ。
- イ あらゆる学問において学術的論争は避けられないため、科学的に確定が困難な対象を扱うと、ある党派が生じてしまい、それに伴って政治的論争も起きてしまうということ。
- ウ あらゆる学問において完全に世界を認識し、記述できるシステムは存在しないため、複雑な対象を扱うと、必ず倫理的な問題が生じ、政治的論争が起きてしまうということ。
- エ あらゆる学問は何らかの形で情報が不足しているため、扱う対象が複雑だと、研究の導く解答が一つに定まらない場合が多く、それを見越して政治が動き出すということ。

オ あらゆる学問は不完全であるため、自然現象とは異なる経済活動のような複雑な対象を扱うと、研究の結論において対立が生じ、政治的論争が起きてしまうということ。

第一段落 (p.286 ㉑～p.288 ㉒)

第二段落 (p.288 ㉑～p.290 ㉒)